

会議所2月の動き

- 1日(木)・新発田北親会新年懇親会

2日(金)・平成18年度中心市街地活性化推進セミナー

3日(土)・商工会議所常議員会
・商工会議所臨時議員懇談会
・新春講演会（国土技術政策総合研究所副所長・小川富由氏）

5日(月)・国民保護協議会
・商工会議所食品工業部会役員会
・新発田市食品加工技術研究会新年勉強会

7日(水)・新発田商業高校SCP株主総会

8日(木)・市特別職報酬審議会

9日(金)・観光振興計画策定検討委員会

13日(火)・小規模企業振興委員連絡会議

14日(水)・日商委員会～15日
・トキめき新潟国体新発田市実行委員会
第1回常任委員会
・大光銀行新発田支店光友会新年会

15日(木)・片山市長へ要望書提出
・市行政改革審議会

16日(金)・商工会議所女性会新年会

17日(土)・千光寺千手観音ご開帳
・赤谷どんづまつり

19日(月)・新発田工業俱楽部総会

20日(火)・雇用対策協議会
・労働者サービスセンター理事・評議員会

21日(水)・しばた信金会通常総会
・労政協会理事会

22日(木)・県連合会運営委員会
・越後の酒天湯子～どんど祭り（下駄供養祭）

23日(金)・日本銀行新潟支店長新春講演会

25日(日)・斎藤弘氏旭日双光章受章祝賀会（日鏡連新潟支部長）
・新発田社交飲食組合新年会

26日(月)・新美生新発田北蒲支部通常総代会
・観光振興計画策定検討委員会
・株しづらショッピングセンター取締役会

28日(水)・企業・地域社会と学校ネットワーク協議会

若い女性が「結婚したい」と思う男性のタイプは、時代や社会環境とともに変化し、次々に新しい条件も加わっていくようだ。

かつてのバブル期に人気を博したのは、あの「三高」。つまり、

- 一、高学歴（一流大学や大
学院卒）
- 二、高収入（大企業勤務や
実業家）
- 三、高身長（できれば百八
センチ台）

という三つの条件がそろつた、高級で他人に自慢ができる

きて見栄えもいい、いわゆる「ブランド男」であつた。ところが、某ネット系の調査会社が二十～三十九歳の未婚女性に聞いたアンケート結果では、この一、二年で新たな動向が起きてきたとか。その一つが、「三低」である。

一、低姿勢（レディーファースト）

二、低リスク（安定した職業）

三、低依存（相手を束縛しない）

特に三つ目の「低依存」

一、家事を手伝う（家事や育児）
二、手を取り合う（理解と協力）
三、手をつなぐ（愛情を注ぐ）

女心は移ろいやすく、欲望は限りなく増殖しているようだ。

さて、こうした一連のトレンードを別の角度から分析すると、二つのことが見えてくる。

一つには、女性の結婚条件が「夢や理想を求める」

いいながら、回答者の四〇%以上がパートナーへの希望する年収は「六百万円以上」とシビア。昨今、「結婚できない男」や「結婚しない女」が増えている一因は、こうした現実にありそうだ。

女性の言い分もそれなりに理解はできるが、男性にとってはハードルが一段と高くなつたことも事実である。頑張れ、未婚の男性諸君！

流行るものから 見えるもの

は、妻に冷たかつたり行動を束縛したり、DV（ドメスティック・バイオレンス）家庭内暴力の危険性がでなく、もちろん親離れができないマザコン亭主は真っ平ごめん、ということなのだろう。

ことよりも「日常生活を平和に楽しく送りたい」という「現実路線・内面重視へとシフトしてきている」とある。

二つには、女性が男性に対して「パートナーとしての役割や態度」を厳しく要求していることだ。

NML野村オフィス
代表 野村 正樹